

令和2年度第4回東員町総合教育会議 議事録

1 開 会 令和2年7月28日 午前 9時30分

2 閉 会 令和2年7月28日 午前11時00分

3 場 所 東員町総合文化センター 第一研修室

4 出席者	東員町長	水谷 俊郎
	教育長	岡野 譲治
	教育長職務代理者	向山 節雄
	教育委員	三貫納 幸
	教育委員	木村 陽一
	教育委員	松宮 あけみ
	子ども家庭課長	南部 里美
	政策課長	丸山 太
	教育委員会事務局長	西村 隆嘉
	教育総務課長	佐藤 光広
	社会教育課長	秦 久司
	学校教育課長	日置 貴久
	学校教育課副課長	加藤 研二
	教育総務課長補佐	南部 博輝
	教育総務課主幹	吉田 尚生

5 会議事項 別紙のとおり

（別紙）会議事項

1 開会の辞

（教育委員会事務局長）

令和２年度第４回東員町総合教育会議を開催させていただきます。町長から挨拶をいただきます。

2 町長挨拶

（町 長）

新型コロナウイルス感染症も一時期は収まっていましたが、また増えてきました。対策は必要ですが、過度に神経質になるものよくないと思います。町の行事もほとんど中止になっていますが、１１月のミュージカルは対策をしたうえで、開催を予定しています。本日は、２つの事項について協議をよろしくお願いいたします。

3 教育長挨拶

（教育長）

東員町の教育は誰一人落ちこぼさないことを基本にしています。これからは、今後訪れる４つの社会（知識基盤社会、多文化共生社会、格差リスク社会、成熟した市民社会）に教育委員会として、各種の取り組みを進めて対応していかなければなりません。

4 事項

（１）東員町教育施策大綱の見直しについて

（教育委員会事務局長）

教育総務課長から説明させていただきます。

（教育総務課長）

東員町教育施策大綱策定スケジュール（案）について説明。

（教育委員会事務局長）

「東員町教育施策大綱の基本施策における具体的な取組」として、事業内容・成果及び課題・今後の取り組みについて、担当課長から説明させていただきます。

（子ども家庭課長）

資料に基づき、基本施策における事業内容・成果及び課題・今後の取り組み

みについて説明。

（学校教育課長）

資料に基づき、基本施策における事業内容・成果及び課題・今後の取り組みについて説明。

（教育総務課長）

資料に基づき、基本施策における事業内容・成果及び課題・今後の取り組みについて説明。

（社会教育課長）

資料に基づき、基本施策における事業内容・成果及び課題・今後の取り組みについて説明。

（教育委員会事務局長）

説明を聞かれて気付いた点や改善すべき点をお聞きして、大綱の素案に反映していきたいと思いますので、ご意見をお願いいたします。

（委員）

子育て支援センターは、子育ての拠点として非常に重要な拠点である。これまでは園長が兼任していたが、移設に伴い、センター長を確保して、しっかりした体制を構築していただきたい。

また、母子保健推進員は、子育て中の保護者にとっては大切な存在である。子育て支援センターも含め、保護者への情報発信を親切丁寧に行っていただきたい。

（子ども家庭課長）

人員配置は人事部局と協議中です。子育て支援センターに来ることができない家庭へも積極的に訪問するなど情報提供に努め、機能の充実を図っていききたいと考えています。

（委員）

いじめ防止対策の充実について、「いじめ発生件数が増加していることは、早期発見と積極的な認知による結果と前向きに捉えている」と説明がありましたが、具体的な内容をお聞きしたい。

(学校教育課副課長)

積極的な認知としては、アンケート、ＱＵ調査で子どもたちの声が上がってきます。聞取りのうえ、明らかにいじめではなく仲違いであっても、一方がいじめと感じたら、いじめと認知しています。認知をすれば３ヵ月間は経過観察をしていきます。いじめ件数をゼロにするのではなく、見えないものも起こっているという心構えで子どもたちと向き合っています。

(委 員)

新型コロナウイルス感染症により学校が３月から休校となり、再開した後、学校へ行けない子どもたちもいると危惧している。メンタルヘルスをしっかりやっていただきたい。

学校ＩＣＴの推進について、ＧＩＧＡスクール構想は国や経済界が注視しているので、速やかに取り組んでいただきたい。

(学校教育副課長)

分散登校期間中は、保護者の意向で登校を控える児童もいました。その間、カウンセリングを受けていただき、学校と保護者が協議するなかで、６月１日の通常登校からは全員登校しています。新型コロナウイルス感染症が原因で登校を控えている児童・生徒はおりません。

(教育総務課長)

新型コロナウイルス感染症対策もあり、国が進める１人１台パソコンを整備するＧＩＧＡスクール構想については、今年度中に事業を完成させることとなり、補正予算を計上して整備を進めていきます。来年度には、ＩＣＴを活用した授業を実施できる環境となり、同時に教職員のスキルアップも図っていきます。

(委 員)

１６年一貫教育プランについて、「保護者の意識調査では、まだ半数の保護者の支持を得るに止まっている」ということで、これだけ推進しているのに大変残念である。保護者にとって情報過多になってはいけませんが、浸透するよう取り組んでいただきたい。

社会教育施設は、働いている世代には利用しづらいと思う。年齢層に応じて利用しやすいように考えていただきたい。

また、学校とは違った場所での交流は有意義であるので、子ども向けのを充実させていただきたい。

(町 長)

教育施策大綱について、基本的な部分はこのままでよいと思うが、子どもは親の背中を見て育つので、親を巻き込んだ子育て、教育が非常に大事である。大綱の中で方針を打ち出していきたい。

(2) 東員町町民プール調査について (経過報告)

(教育委員会事務局長)

社会教育課から説明させていただきます。

(社会教育課副課長・社会教育課主幹)

パワーポイントにより映像で町民プールの破損個所を説明。

(社会教育課長)

資料に基づき、町民プールの改修費用、維持管理経費、利用人数の推移等について説明。

このような状況のなかで、町民プールについて、費用をかけて改修するのか、廃止したほうがよいのか、ご意見をいただきたいと思います。

(委 員)

町民プールは残して欲しいが、改修するのであれば、約4億7千万円の費用がかかっても全て改修すべきである。予算的に難しいのであれば廃止で仕方がない。

(委 員)

改修、メンテナンスにかかる費用を考えると、財政状況から無理だと思う。町民プールを廃止する代わりに、近隣のプールの利用券を配布したらどうか。

(教育長)

いなべ市が大安インターチェンジ付近に温水プールを建設する計画がある。

(教育委員会事務局長)

利用券は難しいかもしれないが、東員町といなべ市は定住自立圏を構成しており、いなべ市民と同額で利用できるなど、料金については協議することも可能と思われます。

(委 員)

年間の維持管理費用のほか、改修費用も数億円ということで難しいのでは

ないかと思います。

（委 員）

子どもたちが利用できないのは大変残念である。いなべ市が計画しているプールが、冬も利用できるのは魅力的である。高齢者も利用できて、料金も割引できたら、町民にも納得していただけたらと思う。

（教育委員会事務局長）

町民プールについては、明日、7月29日（水）に開催の議会全員協議会で資料を示して、説明させていただきます。

5 閉会

（教育委員会事務局長）

これを持ちまして、令和2年度第4回東員町総合教育会議を閉会と致します。長時間、議論をいただき、ありがとうございました。